

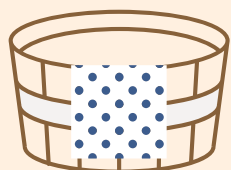


ふくい花丸温泉 茜雲 のあゆみ

時代とともに進化する宿づくり

団体旅行ブームとともに開業

1971年
昭和46年

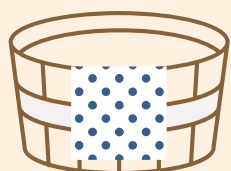


池田町で林業を営んでいた初代が、高度成長期や高速道路の開通もあり空前の観光ブームの最中、旅館茜雲を開業。35室・大宴会場を備え、団体バス旅行を中心に『ナショナルより明るいお宿』をモットーに2次会ラウンジや居酒屋コーナーも盛況した。飲み放題プランは当館が発祥とされている。



露天風呂の誕生

1996年
平成8年

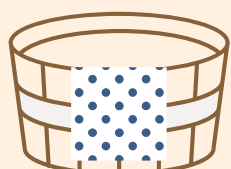


宴会場の一部を改装し、露天風呂『風になりたい』を新設。翌年の台風被害を機に『月見の湯』へ改名し、茜雲を代表する露天風呂として親しまれるようになる。



個人旅行時代への転換

2005年
平成17年

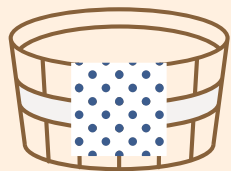


バブル崩壊後、団体旅行の需要が減少し、宿泊料金も伸び悩むなど、旅館業界は厳しいデフレ時代を迎える。老人会などの団体客を中心に営業を続ける一方で、二代目館主は「これからは個人のお客様に選ばれる旅館へ」と新たな挑戦を決意。露天風呂付き客室を備えた全7室の特別棟「花鳥亭別邸 茜雲」をオープンし、「想い出の茜雲」をスローガンに、質を重視したおもてなしへと大きく舵を切る。さらに館内の「酔い知れ亭」を改装し、大人のカクテルバー「涙のキッス」を開業。館主自らシェイカーを振る舞うスタイルが評判となり、個人旅行のお客様から高い支持を集めた。



新しい温泉体験へ

2021年
令和3年



コロナ禍で客足が途絶えた中、団体向け14畳タイプの客室を8部屋ワンちゃん等ペットと泊まれる客室に改装。また館内のカラオケラウンジ（ブルームーン）を取り壊し、新しくかにを茹でる蒸気を利用した『スチームかにサウナ』や本場を想像しその上を目指した『フィンランドのようなサウナ』。水風呂はご当地近くで飲めば5年若返ると有名な湧き水を利用した『若湧き水風呂』当新設。現在のペットブームやサウナブームにあやかり個人客を取り込んでいる。



飲めば
5年若返ると
有名な湧き水！



茜雲 現在のスローガン

団体・個人・ペット・宇宙に優しい茜雲

